

2024年3月19日

国際ロータリー第2540地区
ロータリー米山記念奨学委員会
2023-2024年度
委員長 呉宮 廣哉 様

秋田北ロータリークラブ
米山奨学記念委員長
三浦崇暢

2023年度ロータリー米山記念奨学生「ファン ティ フォン ジャン」卓話報告

去る2月20日火曜日、当クラブの例会に米山記念奨学生 ファン ティ フォン ジャンさんをお呼びし、卓話をさせていただきました。世話クラブである秋田中央ロータリークラブのカウンセラー阿部様にもご同行いただきました。

ジャンさんには、自己紹介、自国のこと、日本語の勉強、秋田での生活のこと大学での研究のことなど多くのお話しをしていただきました。ジャンさんは現在、秋田大学の3年生です。これまで4年間半日本で生活をし、だんだん日本語が馴染んできたようです。趣味は、写真撮影、ジム、料理、旅行だそうです。旅行については、すでに14県をめぐっており日本の文化に多く接していることがうかがえました。

いろいろなお話しの中でも、特に自国ベトナムについて多く話をしてくれました。ベトナムの文化や歴史の紹介、ベトナムの戦争の歴史について、そしてベトナムは以前、貧しい国でしたが自国に対する愛国心や国防精神を大事にしてきたという背景があることを強調しておりました。ベトナムの土地の形は日本のように南北に長く、南部と北部では人柄や気候が異なっており、正月には咲いている花も南部と北部では全然違うそうです。正月では、家族や親せきが集まり、買い物や料理を作ったり、お年玉をあげる文化もあるとのこと、日本と共通している気候や文化があることに驚きました。一方で、ベトナムでは改善しなければならない点が多くあるそうです。それは、交通問題・環境問題・治安の維持などです。そして、これらを改善しなければならない若い世代の責任だと話していました。

ジャンさんが日本に留学したいと感じたきっかけは、日本の美術レベルの高さにあるようです。この点について詳しい話はなかったように思いますが、旅行の際には各地の美術館などにも行っていたのかもしれない。

彼女は約4年間を東北で過ごし、秋田は田舎で寒くて発展していないところでしたと話しておりましたが、時間が経つにつれて、人の温かさがあつたり穏やかな場所だと感じたようです。そして、秋田の四季を満喫し、友人とも楽しく過ごせることができた場所として思い出深く、またロータリーの人は優しく、間違ったこと等をしたら親切に注意をしてくれることも有難いようでした。

大学研究の内容については、日本では水道水から直接水を飲むことができるという環境に目を付け、この3月から水処理の勉強を始めたそうです。将来、大学で勉強したことを活かし、水処理設備の開発に応用したいと考えています。

最後にジャンさんは、自分は将来何になるのか何を指すのかについてはまだ分かりませんが、自分ひとりの力が小さくても何かしらの貢献をしたいと考えているようでした。また、国際ネットワークを活かし、国際理解・親善平和を推進できるように頑張っていきたいとも話していました。ジャンさんがこれから学び、実施していくことが、貢献を通して奉仕に繋がることを切に願っております。

以上